

資料室



HOME | 資料室 | 労働組合 | 教育活動 | 労働組合の目的と働き ② 運動目標 (1)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

組織活動

組織運営と法律

労働安全衛生

経営対策活動

教育・宣伝活動

労働時間をめぐる諸問題

教育活動

選挙活動

組合組織（公務員）

教育カリキュラム

[▶ キーワード検索はこちら](#)

労働組合の目的と働き ② 運動目標 (1)

それでは目的達成に必要な運動目標に何があるか、主要なものを上げてみましょう。

＜目的達成に必要な運動目標＞ ①

◆安心して働き続けられること

【雇用の確保・安定】

雇用労働者にとって雇用の確保・安定ほど大切なことはありません。物心両面の豊かさを求めるとき、物は働かなくては手にすることができませんし、心の安定のためにはなによりも雇用面での安心が必要です。

雇用の確保は、一時的なものではなく、継続的に安定しなくてはなりません。いつまでも100%安心というのではないとしても、産業・企業の将来がある程度見通され、自分たちの雇用に不安はない、という状況の継続は必要なことです。そのためには労働組合の産業政策活動、労使協議制の充実、政治への働きかけなどが重要となります。

また高齢社会を迎え、定年の延長（雇用の延長）は必至の課題となっています。65歳以上の高齢者が人口の20%を超えているわけですから、せめて働く意思と体力のある人は働いてもらうという雇用を保障することが必要で、これは政・労・使共通の課題というべきでしょう。

さらにIT化など技術革新が進み、新規事業も次々と展開される中で、労働者とりわけ中高年の人たちが、新しい職種やより高度な仕事に適応できていくようにするのも、労使の交渉・協議の大切なテーマとなります。

→②

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

